

◆全日私幼連 第26回設置者・園長全国研修神戸大会開かれる

## 子ども・子育て新システムに関する 「神戸大会緊急声明」が採択される

10月25日（月）、26日（火）の両日、全日私幼連の第26回設置者・園長全国研修大会が全国各地から670人の参加を得て兵庫県神戸市で開催されました。

大会初日は、開会式が行なわれ、井戸兵庫県知事らから祝辞をいただくとともに、大会趣旨説明、子どもがまんなかプロジェクトの報告などが行なわれました。

引き続き行なわれた記念講演は、河合雅雄・兵庫県立人と自然の博物館名誉館長、京都大学名誉教授が「子どもと自然」の演題でサルのお話を交えながら講演をされました。その後、泉健太衆議院議員、田熊美穂OECD教育局教育訓練政策課アナリスト、田中雅道(財)全日私幼研究機構理事長による鼎談が行なわれ、政府が検討を進めている子ども・子育て新システムについて、それぞれのお立場からの意見が交わされました。

2日目は、教育、振興、経営、認定こども園の4つの研究講座に分かれて、研修が行なわれ、大会は無事に終了しました。

★

★

★

大会の合間を縫って47都道府県団体の団体長等による緊急の会合が開催されました。会合では「子ども・子育て新システム」に関する『神戸大会緊急声明』の採択を行なうことが執行部より提案され、都道府県団体の参加者全員のご了承を得ました。これをもって、神戸大会の参加者へ『神戸大会緊急声明』の採択を諮り、全会一致で採択されました。執行部としては、全日私幼連加盟園が一丸となって、今回の難局に立ち向かっていこうという趣旨で、緊急声明の採択を提案しました。緊急声明の内容は別紙の通りです。

[今号は2枚]

※都道府県団体におかれましては、お手数ですが本紙を加盟園へご伝達くださいますようお願い申し上げます。

※幼保一体化に関しましてご意見がありましたら全日私幼連宛にFAXまたはメールでお寄せください。

FAX : 03-3263-7038 メール : info@youchien.com

## 「子ども・子育て新システム」に関する

### 第 26 回 全日本私立幼稚園連合会

#### 設置者・園長全国研修神戸大会 緊急声明

- 1 学校教育法第 1 条の幼稚園の改正を前提とする「幼保一体化」構想には絶対に反対である。
  - ・ かつて幼稚園・保育所の二元行政を行っていた国では、幼児期からの教育の重要性に鑑み、教育の視点を第一義として統合を行ってきた。幼児期の教育は学校教育としての明確な理念のもとに統合が行われたという各国の歴史的教訓を日本は学ぶべきである。
- 2 現行の学校教育法体系を侵さない範囲で「幼保一体化」構想が考えられるべきである。
  - ・ 今回の「幼保一体化」構想は、保育所制度改革をその起源としており、日本の子どもがどのような育ちをするべきかといった本質論に欠けている。このような状況のもとで、拙速に制度のみを無理に変えるのではなく、確実な歩みをするべきである。そのためには、現行法制度を最大限生かした改革を第一歩とするべきである。
- 3 保護者が機関を選択できる制度とするべきである。
  - ・ 「こども園（仮称）」という言葉が独り歩きし、幼稚園も保育所も均質な「こども園（仮称）」に強制的に移行させられるというイメージが先行している。そのことが、幼稚園在園の保護者にも、保育所在園の保護者にも不安感を醸成している。現実には幼稚園や保育所は多様なニーズに応じて多様な形態が存在している。自由主義社会においては、多様な選択が認められる制度とするべきであり、法律により強制的に移行させられるようなことがあってはならない。
- 4 都道府県・国の責任も明確にするべきである。
  - ・ 一施設を複数の市区町村の住人が利用している現状に鑑み、幼児教育の質の低下をきたさないよう国が、『客観的な基準』を定めるとともに、都道府県が関与する広域的なシステムを構築するべきである。

以 上